



環境しょうばら

次世代へつなぐ 庄原の里山環境

【連絡先】
平成 29 年 8 月 5 日
庄原市環境建設部
環境政策課
(0824)72-1398

No. 6

3R の取り組み



3R とは、Reduce (リデュース)・Reuse (リユース)・Recycle (リサイクル) の 3 つの英単語の頭文字を表しています。その 3 つに取り組むことでごみを減らし、ごみの焼却や埋立処分を極力減らすことと、限りある地球の資源を繰り返し使う社会をつくろうとするものです。

実際に、皆さんが取り組んでいるアイデアを次の通り紹介します。

Reduce

(発生抑制)

生ごみは、楊枝で底に穴を開けたビニール袋に入れてひと晩水切りをする



生ごみを捨てる前にほんの一手間かけることで、水分を減らし、においも抑えることができます。特別なグッズを用意することなく簡単に取り組める、水切りに非常に有効なアイデアです。家庭からでるごみはそのほとんどが生ごみに含まれる水分です。生ごみをぎゅっとひとしぼりすることで、ごみをぐんと減らすことができます。

Reuse

(再使用)

ちょっとした工夫で、ミルク缶がオモチャに早変わり！物の工作の楽しさを感じ、ごみの減量や物を大切に使う心が育つ。

DIY・・・Do It Yourself の略語です。

昨今では、DIY (自分で何かを作ったり、修繕したりすること。)という言葉も定着し、物を修理して長く使うことはごみを減らすために有効な手段の一つです。

あなたの工夫とアイデアで使えるものは最後まで使いましょう。



Recycle

(再生利用)



紙類や牛乳パックは資源回収等へ出す



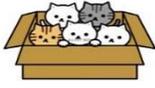
新聞、雑紙、ダンボールだけでなく、菓子箱や包装紙、メモ用紙といった紙類も資源として分別することは、可燃ごみを減らすことにつながります。また、正しく分別された紙類や牛乳パックは、新しい製品に生まれ変わり、リサイクルされます。「混ぜればごみ、分ければ資源」です。

ごみを出す前に資源が混ざっていないかももう一度確かめましょう。

皆さんの周りには、ごみ減量のために日々工夫されている方がたくさんいらっしゃいます。できることから、ごみを減らす工夫をしてみましょう。



ごみ減量のアイデアなど、お気軽に環境政策課までご意見をお寄せください。

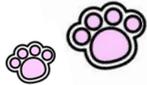


猫に関してのお願い

市には「畑を荒らされた」、「鳴き声がうるさい」、「庭にフンをされた」など猫に関するたくさんの相談が寄せられています。

苦情やトラブルの多くは猫だけの責任ではありません。

飼い主や、一方的な思い入れで飼い主のいない猫に給餌している方の責任といえます



野良猫にエサを与えている方へ



かわいそうだからという優しい気持ちでエサやりを行うことが、必ずしも猫のためになるとは限りません。エサを与えることで野良猫が集まってきて、多くの子猫が産まれることにも繋がります（子猫は年に2～4回、1回に2～5匹生まれます）。産まれた子猫全てに責任がもてますか？

無責任なエサやりは、飼い主のいない猫を増やすと同時に、鳴き声や糞尿などによる地域トラブルも招きかねません。野良猫に、エサを与えるということは、その猫に対して責任をもつことだと理解して行動しましょう。

【犬・猫に関するお問い合わせ先】

広島県動物愛護センター （三原市本郷町南方 8915-2 TEL0848-86-6511）



リサイクル講座のお知らせ

庄原市リサイクルプラザでは、ごみとして出されたガラスを使ってステンドグラスを製作する講座を開催しています。この講座を通して、ごみの減量化と資源の有効利用について、一緒に楽しく考えてみませんか。お申し込みは、環境政策課までお願いします。

なお、定員になり次第、締め切らせていただきます。

皆様のご参加をお待ちしています。

◇場 所：庄原市リサイクルプラザ（庄原市是松町 20-25）

◇持参物：エプロン、軍手、昼食、会費 2,000 円

	日程	時間	定員
8月	13日（日）、17日（木）、 22日（火）、27日（日）	10：00～15：00頃	10名



※お子さんの参加は、小学校3年生以上で保護者と一緒に参加できる方に限らせていただきます。

環境標語（平成28年度環境啓発ポスター・標語コンクール 優秀賞）

ポイ捨てで 濁る心と 病む地球

西城中学校 中島 優花

